

自然の家だより

令和8年
9月10日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地
Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933

夏になると右の写真のような雲をよく見かけませんか？

モコモコと空高く伸びるこの雲は「積雲」といい、さらに発達すると「積乱雲」になります。「積乱雲」は別名「入道雲」とも呼ばれます。ほかにも雲には色々な種類があるんですよ。今回はそんな雲について紹介します！



雲はどのように作られる？

空気中の水が温められると空高くまでのぼり、冷やされて水の粒が目に見えるようになります。この集合体が雲です。雲の中は寒いので氷の粒もできます。

雲の種類は何個あるの？

雲は大きく分けると、発生する高さに応じて3種類、さらに分けると10種類に分けることができます。

雲の種類と発生する高さ			
上層雲 5000m～13000m	巻雲 (けんうん)	巻積雲 (けんせきうん)	巻層雲 (けんそううん)
中層雲 2000m～7000m	高層雲 (こうそううん)	高積雲 (こうせきうん)	乱層雲 (らんそううん)
下層雲 ～2000m 付近	層雲 (そううん)	層積雲 (そうせきうん)	積雲 (せきうん)

◆ 上層雲：巻雲・巻積雲・巻層雲

上層雲とは、上空の最も高い所(5000m～13000m)に発生する雲をいいます。とても高い場所に位置しているので、これらの雲から雨や雪が降ってくることはほとんどありません。

◆ 中層雲：高層雲・高積雲・乱層雲

中層雲とは、上空の真ん中付近(2000m～7000m)に発生する雲をいいます。「中」層雲なのに「高」層雲？などと混乱してしまうかもしれませんが、「上・中・下層雲」の「層」は上下(垂直)方向の「層」を意味し、高層雲・乱層雲などの「層」は水平方向の「層」を意味しています。

◆ 下層雲：層雲・層積雲・積雲・積乱雲

下層雲とは、上空の最も低い所(～2000m付近)に発生する雲をいいます。雨や雪などの降水をもたらす雲は、中層雲である「乱層雲」を除けば、基本的にこの下層雲が主体となります。

夏の夕立にご用心！

夕立は、夏の午後に激しく降る雨のことです。夏の強い日差しで地面付近の湿った空気が温められ、上昇してできた積乱雲などから降ります。

積乱雲は入道雲や雷雲(らいうん、かみなりぐも)と呼ばれるもので、長くて1時間程度で消えてしまいます。そのため、夕立はザーッと強く降って止むことが多いです。

また、積乱雲は雲の高さは高くても面積は小さいので、雨の降る場所と降らない場所がはっきりと分かれています。夕方に降ることが多いのは、午後になって地面付近の気温が高くなると上空の気温との差が大きくなり、上昇気流が起こりやすくなるためです。



①真っ黒い雲が近づいてきた ②雷の音が聞こえてきた ③急に冷たい風が吹いてきた
この3つは積乱雲が近づいてきているサインだよ！激しい雨と雷がやってきて、竜巻などの激しい突風や雷が降ることもあるから、木の下ではなく、近くにある建物や車の中に避難しよう！